

学校評価アンケート結果の考察

※「 」の前の数字は、アンケートの質問番号です。

※（ ）の中の％は、A：よく当てはまる、B：やや当てはまる に該当する保護者（生徒）の割合を示しています。

I 保護者アンケートについて

【高い評価が得られた項目】

24「校地の整備が十分に行われ、安全に生活している」（95％）

本校では、5月と8月にPTA環境委員会で親子奉仕作業を実施しました。多くの保護者の方に参加していただき、日頃手が行き届かない所まで除草活動に取り組むことができました。また、トラックによる校地整備を週2回程度定期的に行い、校庭での保健体育の授業や部活動がスムーズに行えるように環境整備をしています。その結果が保護者の皆様に高く評価していただいたものと考えます。

20「学校からのお知らせやホームページなどから、学校の様子がわかる」（94％）

本校は、学校・家庭・地域との連携と開かれた学校を目指して、学校のホームページや一斉メール、学年だより等を積極的に発信し、学校の様子や情報をお知らせしています。今年度もオンラインによる授業参観を継続したり、授業や部活動、委員会での生徒の様子も各担当教師から発信したりしました。学校・家庭・地域との連携を図ってきたことが高評価につながったものと考えます。

9「お子さんは、遅刻をしない、服装を守るなど、学校生活のルールを守っている」（91％）

本校の生徒は、普段から落ち着いて学校生活を過ごしており、生徒会本部や規律委員を中心に学校全体で学校のルールを守るという規範意識が高い状況です。また、家庭教育の高さや道德教育の充実を継続して実践していることが高評価につながったものと考えます。

【比較的评价が低かった項目】

5「お子さんは、水曜日のノーメディアデーの趣旨を理解し、守ろうとしている」（28％）

前年度（24％）よりは微増したが、情報モラル教育（SNS等を利用する際のルールやマナー、健康上の問題に対する意識の向上）を充実させるなどして、水曜日はノーメディアデー（読書等）であることを理解していただけるようにしてまいります。

4「お子さんは、学校から本を借りたりするなどして、読書をよくしている」（33％）

図書だよりの発行や掲示物などを工夫して前年度（30％）よりは微増しましたが、さらなる改善に向け、学校司書と連携して、図書室が積極的に活用され、読書により親しめるような環境をなお一層整えてまいります。

II 生徒アンケートについて

【高い評価が得られた項目】

25「清掃活動にきちんと取り組んでいる」（97％）

本校の伝統である無言清掃の徹底を継続して実践していることが高評価につながったものとも考えます。環境委員が日々確認して、よい取り組みが見られる清掃箇所を放送で称賛する場面も多くなっていきます。

14「いじめは許されないことを理解し、生活している」（96％）

Q-Uテスト等を活用しながら、日常的に学級集団の状況や生徒一人一人の様子を観察・把握して、望ましい学級集団づくりや人間関係づくりに努めてきたことが高評価につながったものとも考えます。保健室やスクールカウンセラーとの連携も密にして、日頃の生徒の悩みに対応しています。今後も保護者の皆様と連携しながら、いじめの未然防止・早期発見・早期対応について組織的に進め、いじめの根絶に尽力していきたく思います。

19「朝の交通安全指導や部活動後の帰宅指導により、安全に登下校ができる」(94%)

本校では、PTAによる「あいさつ運動」や補導委員会による「街頭指導」、教職員による登下校指導を毎月定期的実施して、高評価につながったものと思われま

【比較的评价が低かった項目】

4「水曜日はノーメディアデーであることを理解し、守ろうと努力している。」(26%)

本校では、オンラインの授業参観等、タブレット端末の活用を進めていますが、ノーメディアデーの意義について指導するとともに、健康面も気を付けて、連続して使用しないなど、メリハリのあるメディア使用に向けて取り組んでまいります。

6「学校の図書館にある本を読んだりするなど、読書をよくしている。」(44%)

本校では、学年の実態に応じて、朝の時間を使って読書活動に取り組んでいますが、読書等の意義を指導したり、学校司書との連携をして図書室が積極的に活用されたりするよう、読書により親しめよう環境をなお一層整えてまいります。

Ⅲ その他

学力向上に関する評価は、生徒・保護者ともに良好でした。また、生徒アンケートでは、質問10「遅刻をしない、決められた服装を守るなど、学校生活のルールを守っている。」が94%、質問21「時と場をわきまえた言葉づかいができています。」が90%、質問24「親や友達には、思いやりの気持ちや節度を忘れずに接している。」が92%と高い数値を示しております。ご家庭や地域の教育力が高く、生徒が素直に育っている様子がよく表れています。

保護者アンケートでは、質問13「お子さんは、道徳の授業を中心とした学校の道徳教育や家庭教育を通して、「思いやり・感謝」の心が育っている。」が87%、質問21「お子さんは、朝の交通安全指導や部活動後の帰宅指導などにより、安全に登下校ができています。」が91%、質問21「部活動後の学校の授業で習うことを理解している。」が82%の他に、質問23「学校行事(授業参観・教育相談・奉仕作業など)への参加が十分に行われている。」が88%と昨年度より大きく上回りました。新型コロナウイルス感染症が5類相当に引き下がり、授業参観や親子奉仕作業などPTA活動に保護者の皆様が積極的に参加していただいたことがこのような成果につながったものと考えております。

今後も「わかった」「できた」が実感できる授業の実践を継続するとともに、日常的に「授業スタンダード」やタブレット端末を活用しながら「指導と評価の一体化」を実現することで、さらなる授業改善に努め、学力向上を図ってまいります。

また、家庭学習においては、自主的に取り組んでいる状況が維持できているので、今後も「家庭学習スタンダード」やタブレット端末等を活用し、自己マネジメント力を育成しながら、望ましい生活習慣づくりと家庭学習の質的改善も図ってまいります。